

医療機関に対する人工呼吸器等の消耗品の配布について

【概要】

- 新型コロナウイルス感染症の重症患者の治療に人工呼吸器を使用する際には、医療従事者の感染防止の観点から、人工鼻、HEPA フィルタ、閉鎖式吸引チューブの使用が推奨されている（「新型コロナウイルス肺炎患者に使用する人工呼吸器等の取り扱いについて」（日本呼吸療法医学会、日本臨床工学技士会））。
- また、体外式膜型人工肺（以下「ECMO」という。）治療の際には、径の太いECMO 用カニューレが必要とされている。
- 世界的に感染が拡大する状況において、これら人工呼吸器等の使用に際して推奨されている消耗品の供給が不足したことから、人工呼吸器等を使用する医療機関において、これらの消耗品を引き続き使用し、医療が継続されるよう、厚生労働省において買い上げ、人工呼吸器等を保有する医療機関へ無償配布した。

【配送実績】

品目	配布数	配布施設数
人工鼻	約54万個	1,525施設
呼吸回路除菌用フィルタ	約31万個	1,485施設
閉鎖式吸引カテーテル	約4.6万個	1,358施設
ECMO用カニューレ	約3.6千セット	459施設

※ G-MIS（WEB調査）を活用し、全国の医療機関に対して、令和2年12月14日から12月18日まで希望数を調査し、令和3年2月から3月にかけて全国の医療機関へ無償配布を行った。